

YOSANO

広報よさの No.17

広報よさの 7 2007 No.17

発行：与謝野町役場 編集：企画財政課
住所：〒629-2292 京都府与謝郡与謝野町字岩瀬1798番地1

TEL：0772-46-3084(直通)
FAX：0772-46-4630

URL：http://www.town.yosano.lg.jp/
E-mail：kkakuzaisei@town.yosano.lg.jp

特集
阿蘇海をきれいに

2007
7

標高差800m、国定公園、 絶景、山岳登山マラソン、 そして、感動。 これ、全部体験できます。

9.30 (日)

種目 / 23.5km・10.0km・3.5km
会場 / 大江山運動公園グラウンド



ゲストランナー
千葉真子さん
1997年 世界陸上選手権 10,000m 銅メダル
2003年 世界陸上選手権 マラソン 銅メダル



ふるさとランナー
木崎良子選手
佛教大学 4年



ふるさとランナー
西原加純選手
佛教大学 1年



ふるさとランナー
鈴木亜弥子選手
大阪体育大学大学院

申込締切
8.17 (金)
消印有効

丹後天橋立大江山国定公園指定記念

第2回 よさの大江山登山マラソン大会'07

- 申込方法 / 「参加申込書」(払込取扱票)に必要事項を記入の上、参加料を添えて郵便局で振り込んでください (RUNTESからも申し込みできます)。
- 申し込み先 / よさの大江山登山マラソン実行委員会事務局 (与謝野町教育委員会 教育推進課内) 〒629-2498 京都府与謝郡与謝野町字加悦433 TEL 0772-43-2193 FAX 0772-43-1451
- 主催 / よさの大江山登山マラソン実行委員会 ●共催 / 与謝野町・与謝野町教育委員会

流れ着くのは いつも阿蘇海

大江山を源とする野田川。その清流はやがて本流となり、日本三景「天橋立」が二分する宮津湾の阿蘇海へと注がれる。清流は汚れたごみの川となつて。

与謝野町を貫流する野田川。その河口左岸の浜町（岩滝）住民はいつも、海岸に打ち寄せるごみに悩まされている。特に雨の後などには東からの風にあおられ、集まった漂着物でごみだめになつていくそう。そんな海を見るとぞっとするという。ペットボトルや食品の入つていたトレーなどの石油製品、ときには驚くべきことに分別しきれないごみがたくさん詰まつた町指定のごみ袋までもが流れ着く。このようなごみの漂着は河口付近に限らず湾内全体に及んでいるという。

阿蘇海はごみ箱じゃない。浜町の住民は、環境や景観を守ろうと今日もごみを回収する――
特別名勝「天橋立」は、古くから日本を代表する景勝地で知られ、白砂青松の地として日本

三景の一つに数えられている。周辺の山並みと天橋立が織りなす自然美の素晴らしさは、人々の心を響かせ愛され続けてきた。雪舟や与謝野鉄幹・晶子夫妻を代表する文人墨客により賞賛された景観は、地域の大切な資源として守られ、現在では、全国各地から多くの観光客が訪れる丹後地域の重要な観光資源となっている。また、天橋立から阿蘇海をさんだ西側には与謝野町が位置し、そこからの眺めは一字観と称され、親しまれている景観のひとつとなっている。

閉鎖性水域で水の入替わりが少ない阿蘇海。その湾内の水質悪化は以前から問題視されており、昭和六十年前後をピークに改善傾向にあるというものの、水の汚れはCOD（科学的酸素要求量：水の汚れを表す指数で、有機物が多いほど大きな数値を示す）が年平均値では阿蘇海で1リットル当たり2〜3mg、宮津湾で1〜1.5mgで、年々高い値を示す傾向にあり、宮津湾のおよそ二倍の数値となっている。

有機物の量が多すぎると、海底は酸素不足となり、微生物などがすめなくなる。有機物も分解されずにヘドロとなつて海底にたまり、汚濁物質が赤潮などのプランクトンの大発生を引き起こすなどの悪循環が生じたり、アオサなどの海藻が異常発生し、その腐敗による異臭の被害が近隣住民や観光客にまで及んでいる。また、ごみや生活排水、経済活動による廃水などの影響も併せると、水鳥や魚貝類などの生態系にも大きな影響を及ぼすこととなる。

ごみを回収する地域の方々の地道な努力と、すでに有機物が蓄積している底質改善を図るため、海底に砂を投入するシーブル―事業などの環境改善のための取り組みは以前から行われているが、流入する汚れた水や、漂着するごみの量には追いついていないのが現状だ。

こうした中、周辺の地域では、人間や自然環境にとって有効な働きをする有用微生物（EM菌）を用いた洗剤の利用促進やバイ

オデューゼルなどの環境にやさしい燃料の普及など環境保全に向けた取り組みがNPO法人の活動により、草の根的に広まっている。

また、環境省による「丹後天橋立大江山国定公園」の指定や天橋立を世界遺産に登録しようとする地元の働きかけなど、丹後一帯が広域的なまとまりを見せている。そして、行政も民間団体や地域の方々と連携し、一体となつて阿蘇海の環境改善に向けた総合的な取り組みを進めようとする「阿蘇海環境づくり協働会議」を新たに発足させた。今後のそれぞれの活動に大きな期待が寄せられている。

――「最近ではごみを拾って集めてくれる人も増えてきた。でも川から流れてくるごみはいつもこの阿蘇海にたまるんだ」と地域の方は言う。野田川を流域とする与謝野町の上流から下流の住民として何ができるのか、何かみんなのできることはないかと今日も海を眺める。



「東風が吹くと西側の海岸に、西風が吹くと天橋立側にそのごみはたまる。誰かが取らなきゃいけない。誰だって気分よくない。しかし、下水道整備が進んだおかげで水の色は随分と良くなっているという。



①阿蘇海の海岸に打ち上げられていたペットボトル。海岸には雨上がりの翌日に限らずペットボトルや食品のトレーが散乱する。
②地域住民数人の手によって集められたごみ。海岸線を約100メートル歩いただけで集まったもの。これでもまだ少ないほうだ。



地

球温暖化の原因の一つ、二酸化炭素の排出量を減らすことができるエネルギーとして、現在、世界中で注目を集める「バイオ燃料」。

そのバイオ燃料の取り組みを、バイオニアとして進めている団体が町内にあるのを皆さんご存知だろうか。

◇ 「NPO法人丹後の自然を守る会」。

現在代表を務める蒲田充弘さんが呼びかけ、二〇〇一年にボランティア団体として設立。二〇〇三年にNPO法人として認証された後、活動を本格化させた。

家庭や飲食店などから出るてんぷら油の回収を行い、一般家庭ごみとして廃棄される廃食用油を捨てるのではなく、軽油に替わる燃料、バイオディーゼル燃料（BDF）として再資源化することが蒲田さんたちの活動だ。

◇ 「生まれ育ったこのまちが大好きで、阿蘇海をきれいにしたい」。

この思いで、廃食用油を捨てるポリ缶を、隣近所、事業所などに設置することから始めたが、前例がない活動が理解されるには時間がかかった。

「環境でお金がかかるとか」と冷たい言葉を浴びることもあった。しかし、持ち前の負けん気と「地域を

良くしたい」という熱い思いが伝わり、徐々に活動が地域に浸透していった。

ひとつのポリ容器からはじまった活動は、今では、京都府北部全域と豊岡市で千個以上が設置され、北海道や沖縄の一部まで広がっている。

◇ 「みんなの協力で集めたものを、みんなのために使いたい」という蒲田さん。

その言葉どおり、現在、学校給食センターの配食用トラックや衛生プラントの尿収集車の一部を走らせているのは、給食センターやこの地域で回収したてんぷら油を再資源化したBDFだ。

BDFの信頼性は自動車レース参戦などで実証済みで、元F1ドライバーの片山右京選手とともに、過酷な環境の中で八千kmを走る「パリダカールラリー」も完走。

レースでは、この地域で回収されたてんぷら油も使用され、地球の環境やエネルギーに関する問題を世界に発信した。

◇ 回収活動のみにとどまらず、こういった活動が広まるにつれ、小中学校や地域で、環境学習の題材として取り入れられ、講師として招かれることも多い。

「生活から変えていけば、環境が変わる。身近なところに再利用ができるものがあるはず。できることから始めよう」

と訪れる先々で訴える。

◇

蒲田さんたちの活動は、行政主導ではない、地域住民が中心となり取り組んでいるもので、全国的に見てもたいへん珍しく、平成十六年には環境省のモデル事業となった。農林水産省からも、農林水産業を核に地域独自の力で活発な取り組みをして地域の活性化に貢献したということで、平成十八年度「立ち上がる農山漁村」として選定された。

昨年九月には、タイの産業・経済省工ネルギー機構からも視察を受けるなど、その活動は国内外で注目されている。

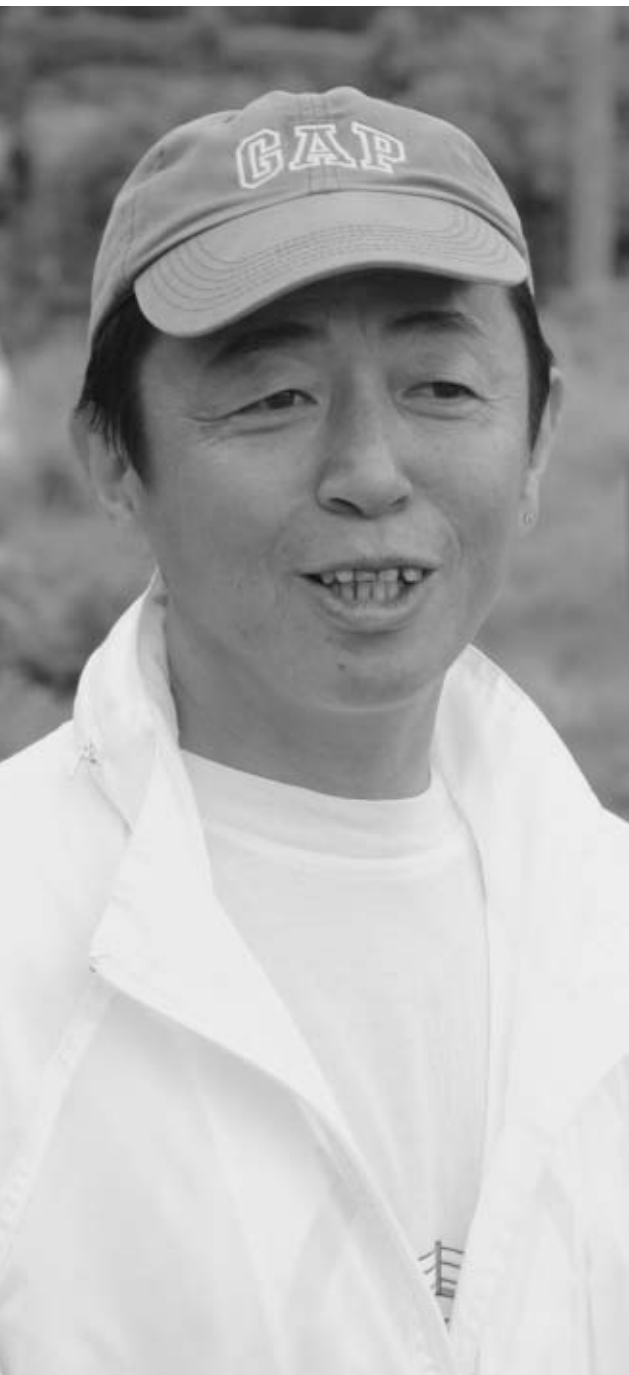
◇

環境に関する活動を切り口に、いろんなアイデアで、この地域を盛り上げる方法を考えている蒲田さん。

今年からは、町の花ひまわりを中心とした「ひまわりプロジェクト」を計画している。京都府北部地域の休耕田や家庭で栽培したひまわりの種子から搾油・精製し、食用油に使用、そして、その廃食用油がBDFの原料として地域で利用される「循環型社会」を目指す活動だ。

また、この地域の代名詞「丹後ちりめん」にも思い入れは強く、そのハギレやB反を使って作った入れ物に自分専用の箸を入れて持ち歩く「マイはし」運動を目下展開中。

◇ 「自分たちが住むまち『与謝野町』から、このまちの魅力を発信したい」と話す蒲田さんの夢、それは「このまちの取り組みを日本中へ、そして世界中に広げる」ことだ。



かばた みつひろ
1961年生まれ。岩滝在住。NPO法人丹後の自然を守る会の代表を務める傍ら、京都府丹後活動プラン推進委員、京都府地球温暖化防止活動推進センター運営委員、与謝野町総合計画審議会委員としても活躍。最近、小学6年生の息子から「お父さんにみたいな人になりたい」と聞き、「涙がでるほどうれしかった」と笑顔で話してくれた。

よさの人 Vol.3

NPO法人丹後の自然を守る会 蒲田充弘さん

「できることから始めよう」



①加悦中学校に環境学習のゲスト講師に招かれ講演する蒲田さん。「この授業で、何かを感じて実際に行動して欲しい」と中学生に熱いメッセージを送った。②ひまわりプロジェクトで使う耕運機には、もちろんBDFを使用。奥に広がる1反の畑に搾油するひまわりの種をまいた。③自宅にあるBDF精製施設を岩滝小学校の子どもたちが見学。④蒲田さんの活動の原点、てんぷら油の回収ポリ容器



木崎良子さん ユニバーシアード日本代表に



↑日本インカレで優勝し、笑顔の木崎さん(佛教大陸上部提供)

下山田出身で、昨年末の全国女子駅伝でも京都代表のアンカーとして活躍した木崎良子さん(佛教大四年)が、学生のオリンピックともいわれる「第二十四回ユニバーシアード競技大会」に、日本代表選手として出場することがこのほど発表されました。

木崎さんは、六月八日から十日まで、国立霞ヶ丘競技場(東京都)で開催された「第七十六回日本学生陸上競技対校選手権大会」(日本インカレ)の女子一万円に出場し、34分20秒25で初優勝を飾りました。また、女子五千円にも出場し、15分57秒39で二年連続で日本人でトップとなる二位に入るなど大活躍。

同大会は、八月八日から十八日までタイのバンコクで開催される「第二十四回ユニバーシアード競技大会」の代表選考も兼ねており、大会での活躍が認められ一万円、五千円の二種目で日本代表に選出されました。二〇〇五年にトルコで開催された前回大会にも出場した木崎さんは、女子ハーフマラソン競技で銀メダルを獲得されており、その活躍が期待されています。

手織りサークル「ひまわりの末」が活動を開始



↑「綜統通し」をするメンバーの皆さん

町が実施した「裂織講習会」などの受講者が中心となって、このほど手織りサークル「ひまわりの末」が活動を開始しました。メンバーは十六人で、手織りについて一から学び、すべての工程が一人でできることを目標に講義と実習を重ね、来年の二月には、一年の活動の締めくくりとして、作品展を開催する予定です。

第一回目の活動となった六月十日は、織物技能訓練センターで、京の名工の茂籠龍一郎さんを講師に迎え、手織りについての講義と実習を行いました。毎月第四日曜日に織物技能訓練センターで開催している「絹のギャラリー」で手織体験ができますので、興味のある方は一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



↑準備工程で最も重要な「整経」作業

実習では、織物準備工程で最も重要である「整経」をはじめ「筈通し」「綜統通し」を学び、メンバーは初めての体験に悪戦苦闘しながらも「みんなやっていけると楽しい」などと笑顔を見せていました。

中村有希さん 京都を制し、全国の舞台へ



↑首にかけられた優勝メダルが輝いています

岩滝陸上クラブの中村有希さん(岩滝小六年・石田)が、五月二十六日に西京極陸上競技場(京都市)で開催された「日清食品カップ第二十三回全国小学生陸上競技交流大会京都府予選会」の女子八十斤ハードルに出場し、13秒71の大会新記録で優勝し、七月二十七日、二十八日の両日、長居陸上競技場(大阪市)で開催される全国大会の切符を手に入れました。

中村さんは昨年も同種目に出場し、五年生ながら二位に入り、今年はその活躍が期待されています。特に、クラブでは、父でコーチでもある弘樹さんが自作したビニールパ이프のハードルで練習し、まさに親子二人三脚で勝ち取った優勝です。現在、同種目ランキング十位相当ということで、全国大会までにさらにトレーニングを積み、「力いっぱい走って、決勝にいきいたい」と話してくれた中村さん。その可憐な笑顔が競技場で見られることを期待しています。

実りの秋が今から楽しみです



↑秋には収穫祭も予定されています

ビッグファーマー野田川が主催して行われる、恒例の「田植え体験祭り」が6月3日、野田川わくくばる前の水田で開催され、ビッグファーマー野田川の特別栽培米消費者の家族や町内の小学生、クリーンキッズと謝野の子どもたちが参加しました。

今年も大きく元気に育つね



↑元気に育つよう、ていねいに種をまきました

八月四日から十二日の日程で今年も開催される「ひまわり十五万本」イベント。その幕開けとなる「世界のひまわり畑」の種まきが六月十日、野田川わくくばる付近のひまわり畑で行われ、町内外から親子連れら百人が参加しました。

十種類の世界のひまわり畑は、ロシアひまわりが咲き誇る畑の一角にあります。普段見ることのない珍しいひまわりを見にご来場ください。

蓮の花が見頃です



↑今年一番に開花した蓮の花

下山田サイクリングロード沿いの水田で蓮の花が咲きはじまりました。水中から茎を伸ばした大小の葉が水面に広がり、鮮やかなピンク色の花と握りこぶし大のつぼみがあちらこちらで顔をのぞかせています。生産者の茂籠與四郎さん(下山田)は、見学に来た方が少しでも花に近づけるようにと草刈などの準備をしておられます。花の見頃は七月上旬から八月中旬まで。

色とりどりのあじさいが咲き誇る



↑模擬店も出店され、にぎわいました

金屋の上司谷公園で七月一日、「金屋あじさいまつり」が開催されました。上司谷公園は、昭和六十三年の豪雨災害による砂防治山事業にあわせ、旧加悦町で親水公園事業を組み合わせて整備された公園で、公園内には十種類、約三千本のあじさいが植栽されています。訪れた人たちは咲き誇るあじさいを鑑賞したり、大正琴の琴姫会の演奏や歌謡ショー、ビンゴゲームなど楽しいイベントを楽しみました。



↑手を上げて横断歩道を安全に渡りました

交通ルールを身につけよう！親子交通教室

岩滝保育所では初めての
の実施となる、教習所場
内を利用しての親子交通
教室が六月四日、岩滝自
動車教習所で行われまし
た。

これは、小学校入学を
控えた園児たちに、二年
かけて、実際の道路で安
全な歩行をするための交
通ルール等を修得させ、
交通事故に対する安全意
識を高めることを目的に
実施されたものです。

岩滝自動車教習所、宮
津警察署交通巡視員、与
謝野町交通安全対策委員
岩滝支部の皆さんの協力
のもと、年中、年長の子
どもたちとその保護者が

参加しました。

交通巡視員から交通ル
ールについて説明を受け
たり、飛び出し実験で車
の危険性を目の当たりに
した後は、コース内を一
般道路に見立て、右側歩
行、信号・横断歩道に気
をつけながら親子で手をつ
なぎ、歩行訓練をしま
した。



↑車の死角について説明を受ける園児たち

ひまわりふれ愛隊が防火を呼びかけました

与謝野町社会福祉
協議会が主催して、
六月九日、岩滝ふれ
あいセンターで開催
された「ひとり暮らし
の集い」に、与謝
野町消防団の「ひま
わりふれ愛隊」（女
性消防隊）が出演し
ました。

お手製の紙芝居し
ようぼうじどうしゃ
じぶた』を披露した
後は、火災予防に関
する問題を〇×ゲー
ムで出題。
最後に、防火を呼
びかける内容に替え
歌した『うさぎとか
め』を参加した高齢
者の皆さんと一緒に
歌いました。



↑お手製の紙芝居を披露しました

災害に備えて 防災パトロール



↑香河の土石流危険箇所をパトロール

町内の危険箇所を
点検する防災パトロ
ールが六月十二日、
町、京都府、宮津警
察署、宮津与謝消防
組合、町消防団が参
加して実施されまし
た。

今回は、土石流や
急傾斜地、山、崖崩
れなどの危険箇所、
八箇所をパトロール
しました。
パトロール後は参
加した関係機関で「台
風や大雨などで不安
や危険を感じたら、
まずは自主避難とい
う意識付けが大切」
など意見が交換さ
れました。

シートベルト着用をお願いします

宮津警察署と与謝
野町交通安全対策委
員会野田川支部の皆
さんの協力を得て、
六月十三日、野田川
庁舎前でシートベル
ト着用推進の啓発活
動が行われました。
四辻交差点から走
行してくる車を野田
川庁舎前に誘導し、
シートベルトやチャ
イルドシートの着用
をしていない人たち
に交通巡視員の方が
指導したり、パンフ
レットや車に飾るマ
スコットを配るなど
して、シートベルト
の着用推進を呼びか
けました。



↑シートベルトの着用を呼びかけました



市町村・地域自治功労者表彰
あかまつ こういち
赤松 孝一さん（幾地）

赤松さんは昭和六十二年
に野田川町議会議員に初当
選して以来、約十九年の長
きにわたり在職し、監査委
員、合併問題特別委員会委
員長、総務委員会委員長、
総務産業委員会委員長、地
方分権・広域行政調査特別
委員会委員長など、議会の
要職を歴任され、町政の推
進と議会の円滑な運営に尽
力し、地方自治の確立と発
展に寄与され、今回その功
績が認められたものです。
新町発足後も与謝野町議
会議員として活躍中です。



市町村・地域自治功労者表彰
はっとり ひろふさ
服部 博和さん（下山田）

服部さんは昭和六十二年
に野田川町議会議員に初当
選して以来、五期連続して
約十九年の長きにわたり在
職し、その間、議長をはじめ
め、副議長、産業常任委員
会委員長、建設農林常任委
員会委員長など、数々の議
会の要職を歴任され、町政
の推進と議会の円滑な運営
に尽力し、地方自治の確立
と発展に寄与され、今回そ
の功績が認められたもので
す。
新町発足後も与謝野町議
会議員として活躍中です。



地方自治法六十周年記念
自治功労者特別表彰
さいもと つよし
才本 次男さん（石川）

才本さんは平成五年から
平成十九年まで七期十四年
間、石川区の区長を務め、
町と地域住民のパイプ役と
して町行政の推進に積極的
に協力し、住民の立場で行
政の円滑な運営と区民の期
待に応える施策の実現に大
きく尽力されました。
在職中は、公民館を拠点
に、自治会活動を活発に行
い、区民の悲願であった香
河川のバイパス河川の完成
に尽力されるなど、地方自
治の振興に寄与されました。

地域力再生功労者・団体表彰
いしかわじゅく
石川 塾

石川塾は平成七年五月に
設立され、現在は石川区に
住む塾員二十三人で、里山
整備、養護施設へのポラン
ティア、酒米づくりなどの
活動を行っておられます。
特に、酒米は毎年「かた
り酒」として蔵出しされ、
平成十三年には「まちづく
り酒づくりサミット」を開
催するなど、地域内外の人々
と交流を図りながら地域の
活性化を実践しておられま
す。



↑毎年、年末に「かたり酒」の蔵出し披露
があります。写真は昨年末の蔵出し披露の様子



京都府社会教育委員連絡協議会表彰
いのうえ あきら
井上 晃さん（金屋）

与謝野町社会教育委員の
井上晃さんが、六月八日に
野田川わくわくばるで開催さ
れた平成十九年度京都府社
会教育委員連絡協議会総会
において、京都府社会教育
委員連絡協議会表彰を受章
されました。
井上さんは平成十一年か
ら旧加悦町の青年団体代表
として社会教育委員に就任
し、同町の社会教育振興に
寄与したほか、合併後も引
き続き社会教育委員として
ご活躍中で、今回その功績
が認められたものです。

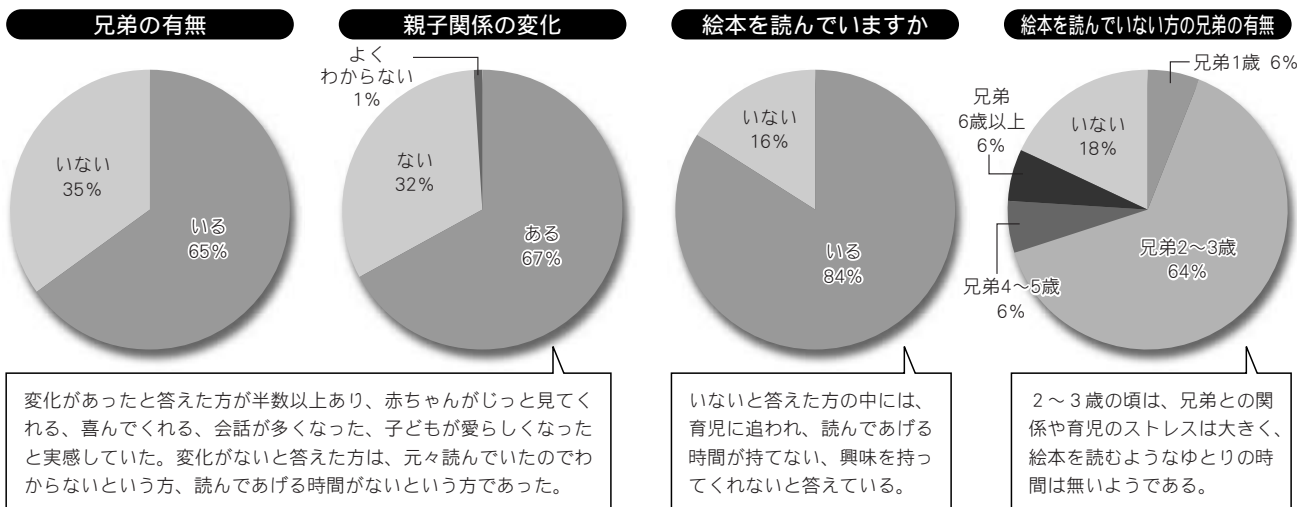
功績・功労をたたえて

六月十九日の京都府開庁記念日記念式典で、町内から、三人の方と一団体が表彰されました。また、京都府社会教育委員連絡協議会でも町内の方が表彰されましたのでご紹介いたします。



絵本を通して、赤ちゃんが保護者とふれあうひとときを持つ「ブックスタート事業」が始まって2年目です。絵本は3ヵ月健診で手渡し、7ヵ月健診でアンケートに答えてもらっています。今回はそのアンケートの結果をご紹介します。

- 対象児・保護者**
- 平成17年12月生～平成18年7月生：117人
 - アンケート回答者：108人（男：51人 女：57人）



皆さんの感想

「ブックスタートの会場で本を読んでもらった時、悪かった機嫌がよくなりました。以後、家でも同様に機嫌よくなり、絵本のすばらしさを実感しました」「絵本を通じて想像がふくらみ、たくさんの会話ができます」「本なんてまだまだ早いと思っていましたが、もらった本をニコニコしながら見て、ママの読むのを聞いてくれるので一層かわいく愛らしく感じられます」「こんなに小さな頃でも、本を読んでやることに意味があることを知りました。本当によい本だと親自身も気持ちがあったかくなり、読んでやるということで、子どもへの思いも強くなる気がします。子どもにもそんな気持ちが伝わって、やさしい心が育ってくれると思って読んでいます」「与謝野町に引っ越して間がなく、公共施設もわからず、赤ちゃんとお散歩するところもなく、お散歩も出づらかったのですが、図書館に行くのが習慣になり、ついでに近くに散歩したりと気分転換になっています。こもりがちの子育てだったので感謝しています」

ブックスタートの目的は、絵本をきっかけに、赤ちゃんとお母さんが肌のぬくもりを感じながら、ことばと心を通わせ、笑顔で向き合うひとときをつくっていただくものですが、その目的が実感できる多くの感想やご意見をいただいています。子育てに不安をもったり、閉じこもりがちの子育てが、図書館を利用することで散歩するようになった、生活リズムがついた、兄弟の関係が良くなったといううれしい報告もあります。しかし、約二割の方で、特に上の二、三歳の兄弟を持つ方は、絵本をもらったが、「読む時間がない」と答えており、育児におわられて読む時間や余裕がないと、子育てのしんどさや負担となっている様子もうかがえます。このことは、少子化や育児不安が増える中、この事業だけで解消できるものではありません。妊娠中から親子関係を築き、子どもが愛らしいと思えるような支援を日々考え、この事業を継続していきたいと考えています。

消防団では、こんな活動もしています！

消防団では日頃の消防団活動の中で、万が一に備え、普通救命講習の受講に取り組んでいます。今回の講習では、新たにAEDの使用方法についても受講しました。

与謝野町でも各施設においてAEDが設置されましたのであわせてご紹介します。



↑普通救命講習を受講する消防団員。このような普通救命講習の受講を希望される方は、宮津与謝消防署救急係（☎46-6119）へお問い合わせください。

◎救命処置とは

突然、心臓や呼吸が止まってしまった人の命を救うために、そばに居合わせた人が出来る応急手当てです。

◎AED（自動体外式除細動器）とは

何かの原因で突然心停止した傷病者（患者）の心電図を測定し解析を行い、必要に応じて電気ショックを与え、除細動を行う装置です。除細動が必要とされるか否かは、AEDが心電図を



みて自動的に判断します。使用する人に専門的な知識を必要としないため、だれでも使用することができます。今までの、人工呼吸、胸骨の圧迫とあわせて使用します。

◎町内のAED設置場所

- ・与謝野町役場 各庁舎
- ・各小中学校
- ・京都府立加悦谷高等学校
- ・京都府立与謝の海養護学校
- ・与謝野町立中央公民館
- ・加悦地域公民館
- ・生涯学習センター知遊館
- ・野田川わーくぱる
- ・加悦双峰公園
- ・リフレかやの里
- ・野田川ユースセンター
- ・クアハウス岩滝
- ・大内峠一字観公園（管理棟）
- ・京都府立与謝の海病院
- ・与謝野町立国保診療所



平成19年度全国統一防火標語「火は見てる あなたが離れる その時を」

6月23日から、国際交流員事業の「お茶クラブ」がはじまりました。いろんな国のお茶を紹介し、そのお茶の国の文化や、習慣などを知り、日本との違いや同じところを感じる事業です。

実は私は日本に着任することが決まった時から、私が大学で開いた部活の「お茶クラブ」という活動を日本に持ってくるつもりでした。

2年前に日本着任のための面接でいろんなことを尋ねられました。「国際交流員として、何がしたいですか」ということを聞かれるので、「国際理解に関連した行事を企画したいです」と答えました。その時、3人の面接官の中の1人が私の履歴書を読んで「お茶クラブという

ことを大学で行われましたね。これはなんですか」と聞きました。それで、私はゆっくり説明しました。

「家のバルコニーで友達と一緒にお茶を飲んでいる時、手で持っているカップを見て、お茶クラブということを考えつきました。当時は友達が『企業の社会的責任研究部』の部長でした。同じ大学の学生に広く知らせるためにいろんな講師を誘ったり、行事を行ったりしていました。同じように、私は異文化コミュニケーションに興味を持っていたので、これにつ



↑1回目はカンパ茶を楽しみました

いて広く知らせ、興味を持ってもらおうと思いました」。面接官はじっと聞いていましたが、「この部活は国際交流員という仕事とどういう関係があるのか。なぜお茶なのか」と混乱した顔をしていました。

「まず、お茶の利点はいろんなお茶にかかわる国々の文化、生活、習慣などを紹介できるだけではなく、お茶を通して、いろんな人が一緒につながることができます。逆に、文化や生活や習慣などが違って、それぞれの国でお茶に対する関心があります。どこの国に行っても、お茶といえば、上品、社交的、穏やかというイメージが強いです。こういうイメージは異文化コミュニケーションをとるために最適です。さらに、お茶を飲むことの印象は、いろんな国で共通している部分が多いので、文化の掛け橋にできると思っていました」と答えました。面接官はなるほどという顔をしていました。だから、私は日本にいます。

皆さんもお茶クラブに参加しませんか。違う文化や、生活習慣などばかりではなく、皆さんと一緒にそれぞれのお茶に感謝しながら、異文化コミュニケーションを深めましょう。

参加を希望される方は教育委員会教育推進課 ☎43-2193) へご連絡ください。

時の贈り物 [第15回]

まちの文化財



●場所
与謝野町字弓木小字宮ヶ谷
●指定等
【本殿】京都府登録有形文化財(建造物):平成15年3月14日登録
【境内】京都府決定文化財環境保全地区:平成15年3月14日決定

◎木積神社の本殿
—山と緑に囲まれてたたずむ御社—
石田地区公民館の前に建つ木積神社の石碑から右に緩やかに曲がる急勾配の坂道を登りきると、正面に鳥居が見えてきます。鳥居をくぐり抜け、境内を流れる小川を渡り、石段を登ると、急峻な山々を背にして鎮守の森に覆われた木積神社の建物が姿を現します。木積神社は祭神に木の神として知られる五十猛神と、国造りの神、大物主神を祀り、境内社に明治年間に遷座された速玉神社が鎮座します。神社の創立は延喜二年(九〇二)とされ、『延喜式神名帳』に記される小社木積神社に比定する説もありますが、社記・文書類を被災等で失っているため、創立・沿革については明らかではありません。現在の本殿は、神社に残る記録によると江戸時代中頃の天明六年(一七八六)に再建されたことを伝えています。しかし、昭和二年の丹後震災により、大きく損傷し、昭和十五年に修理改築されました。本殿の屋根部分、桁から上の部材は古い様式を再現して作られたものであることは、部材の新しいさからもうかがい知ることが出来ます。本殿の様式は一間社流造、こけら葺建物で、正面に軒唐破風と千鳥破風を付け、建物正面や脇障子に龍や獅子などの彫物で装飾を施すなど、丹後地方における江戸時代の神社建築の特色を表しています。古くから地元の崇敬を集めてきた木の神、国造りの神が鎮座する木積神社の本殿は、緑豊かな自然環境に守られて静かにたたずみ、訪れる人に心地よい癒しの空間を提供しています。(与謝野町教育委員会)

今月のオススメの一冊

与謝野町立図書館(知遊館1階) TEL 46-2451
加悦分室(加悦地域公民館2階) TEL 43-0376
野田川分室(町中央公民館1階) TEL 43-0087

▼一般書



『地球のためにわたしができること』
枝紘淳子/著
大和書房

地球温暖化について警鐘を鳴らして話題になった『不都合な真実』(アル・ゴア/著・ランダムハウス講談社)の訳者で、環境ジャーナリストの著者が、地球にやさしいエコについて紹介の方法がまとめられています。一つでも自分にできることをやってみませんか。



『ナショナルジオグラフィック傑作写真ベスト100 埋もれた傑作』
日経ナショナルジオグラフィック社/編・発行

迫力ある写真で世界の出来事を映し出している『ナショナルジオグラフィック』誌で、写真家が苦心の末撮影に成功しながらも、公開されることなかった作品の数々を、写真家たちの自薦に基づいて、「瞬間を伝える」「忍耐強く待つ」という2大テーマのもとに編集された写真集。

▼児童書



『俳人芭蕉・蕪村・一茶を知ろう 与謝蕪村』
高村忠範/文・絵
学習研究社

与謝野町と同じ名前の与謝蕪村を知っていますか。この本は、江戸時代の俳句を詠む人で画家としても有名な蕪村の一生と、その作品をわかりやすく紹介しています。「蕪村はお坊さんだった」「くじらと蕪村」といったコラムや、俳句の歴史や季語に関する知識も収録されています。



『ロベルタのなつやすみ』
シルビア・フランシア/作・絵
フレーベル館

ロベルタは犬の女の子。夏休みに海辺に住んでいる祖父の家にやってきました。たいくつだったロベルタは我慢できなくなって、一人でのお出かけは止められているのに、窓から見える海へ行こうと家をとび出します。大冒険の始まりだ!とはりきって歩いてきましたが...

▼新着図書

【一般書】●『お母さん社長が行く!』橋本真由美/日経BP社 ●『きもの囃』くまざわあかね 文 長谷川義文 絵/ポプラ社 ●『白洲次郎・正子の食卓』牧山圭子/新潮社 ●『ひらがなの美学』石川九楊/新潮社 ●『JR福知山線脱線事故 2005年4月25日の記憶』JR福知山線脱線事故被害者有志/神戸新聞総合出版センター

【児童書】●『怪異百物語 人体と食べ物の恐怖』フシギな世界を考える会/ポプラ社 ●『小学生の読書・作文が好きなになる漢字・ことばはかせ』今村久二他/学燈社 ●『ドクトル・ムッシーの昆虫おもしろふしぎ探検記』矢島稔 文 つたかずみ 絵/小学館 ●『よんでたのしい! いったのしい! どうぶつえんガイド』あべ弘士/福音館書店

図書館からのお知らせ

開館時間
午前10時～午後6時

休館日
本館 加悦分室(毎週月曜)
野田川分室(毎週火曜)
共通(毎月最終木曜)

おはなし会のお知らせ
本館
九月一日(土)
①午前10時三十分～
②午後三時～
※八月は休み
野田川分室
七月二十一日(土)午後三時～
加悦分室
七月十四日(土)午後三時～
七月二十八日(土)午後三時～

作品展示のお知らせ
「子ども読書絵手紙コンテスト」
入選作品展示
●町中央公民館
七月五日(木)～十五日(日)

与謝野町役場
☎46-3001(代表)
岩滝地域振興課
☎46-3002
総務課
☎46-3003
総務課(消防安全係)
☎46-3004
企画財政課
☎46-3084
企画財政課(情報システム係)
☎46-3085
建設課
☎46-3267
商工観光課
☎46-3269
会計室
☎46-3007

野田川庁舎
☎44-2081(代表)
野田川地域振興課
☎44-2082
住民環境課
☎44-2083
税務課
☎44-2084
水道課
☎44-2085
下水道課
☎44-2086

加悦庁舎
☎43-1511(代表)
加悦地域振興課
☎43-1512
福祉課
☎43-1513
保健課
☎43-1514
農林課
☎43-2191
議会事務局
☎43-0215
教育委員会 教育総務課
☎43-2192
教育委員会 教育推進課
☎43-2193

農業委員会会長に三田さんが就任

6月6日に加悦保健センター(元気館)で開催された、与謝野町農業委員会第12回総会において、農業委員会会長に三田彌壽信さん(男山)が就任されました。任期は平成21年7月末までです。



↑新会長に就任された三田彌壽信さん

三田会長は、旧岩滝町の農業委員会会長を長年務められており経験豊富な方です。

総会では、「優良農地の保全、農業振興を図るため、皆さんとともにがんばっていききたい」と就任のあいさつがありました。

なお、前会長江原郁夫さんの任期満了に伴い、その後任として、農業共済組合からの推薦による選任委員には、土肥公さん(石川)が就任されました。

行政委員会等の委員が決まりました

与謝野町議会6月定例会で提案された、各行政委員会等の人事案件について議会の同意が得られ、次のとおり決まりました。(敬称略)

教育委員会委員

おかだ み え こ
岡田三栄子(岩滝)再任

人権擁護委員

わだ よういち
和田洋一(加悦)新任

<人権擁護委員>地域で人権の思想を広め、人権侵害が起きないように見守り、人権を擁護していく、法務大臣が委嘱した民間のボランティアの方です。

固定資産評価審査委員会委員

わだ よしあき 和田 洋一(加悦) 新任
いづみ よしあき 伊達 義明(石川) 新任
うえだ あきら 上田 昭(岩滝) 新任
おおつき くにお 大槻 邦雄(与謝) 新任

<固定資産評価審査委員会>固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服を審査します。



訂正とお詫び

「広報よさの」6月号(P18)の「まちの動き」に誤りがありました。右のとおり訂正し、お詫びいたします。

・まちのうごき・
平成19年4月末現在
人口 25,529人(±0)
男 12,072人(-29)
女 13,457人(+29)
世帯数 8,997戸(+55)

路線バス乗降等調査を実施しました

使 いやすい公共交通への改善を図るため、町内を運行する加悦フェローライン株式会社、丹後海陸交通株式会社の路線バス利用実態と利用者の方からの声を聞くアンケート調査を実施しました。

町内を走る全路線・全便を対象に、フェローラインは6月15日から17日まで、丹海バスは6月22日から24日までの計6日間にわたり、町職員が路線バスに乗り、バス停留所ごとの乗降者数の調査と路線バスの利用目的・不満事項・改善提案等をアンケートや直接聞き取るなどして526人から声をお聞きしました。

さらに、府立加悦谷高校の全生徒を対象に、通学における路線バス利用実態・改善提案のアンケート調査も行いました。

現在、町では住民の生活に必要なバス等の旅客輸

送について、地域の実情にあった輸送サービスの実現を推進するため、庁内に地域交通対策プロジェクトチームを設置し、鋭意検討を行っており、これらの調査の結果を参考に、住民の皆さんにとって、もっと使いやすく、効率的な交通体系の実現を目指します。

調査にご協力いただきました皆さん、ありがとうございました。



→バス車内でのアンケート調査の様子

5月の入札結果

入札日	業務番号	業務名	業務概要	業務場所	業者数	落札業者名	予定価格 (千円/税抜)	最低制限価格 (千円/税抜)	落札金額 (千円/税抜)	落札率 (%)	委託期間
5/23	19与道橋新工第1号	藤ヶ森2号線側溝整備工事	可変側溝工	男山	4者	足立石油㈱	2,586	1,852	2,400	92.8	H19/5/29 ~7/20
5/23	19与農第2号	農畜産物集出荷貯蔵施設造成工事	造成工	与謝	4者	江笠建材㈱	4,130	2,984	3,800	92.0	H19/6/1 ~8/30
5/23	19与農第1号	上谷貯水池災害防止工事	ブロック積工 その他	四辻	17者	榊三野工務店	9,440	6,768	8,680	91.9	H19/6/1 ~9/28
5/23	19与特下第8号	三河内地区宅内ポンプ設置工事	取付管布設工 宅内用ポンプ設置	三河内	17者	術石田建設	16,664	12,614	15,300	91.8	H19/6/2 ~10/18
5/23	19与道橋新工第2号	明石香河線有線テレビ伝送路移設補償工事	光ケーブル設置工 自営柱設置	明石香河	4者	榊西谷通信工業	2,780	1,998	1,998	71.8	H19/5/26 ~7/20
5/30	19与水改第1号	加悦簡易水道算所浄水場改良(浄水設備)工事	急速ろ過機設備工 その他	算所	5者	理水化学㈱ 大阪支店	69,638	59,192	64,500	92.6	議会の議決があった翌日 ~H20/2/29
5/30	19与水改第2号	加悦簡易水道算所浄水場改良(電気計装設備)工事	電気計装設備工 その他	算所	7者	桐田機工㈱	102,108	86,791	93,800	91.8	議会の議決があった翌日 ~H20/2/29
5/30	19与道橋新工第6号	野田川本線側溝整備工事	可変側溝工	三河内	4者	橋建築	1,969	1,422	1,800	91.4	H19/6/9 ~7/31
5/30	19与住宅管工第1号	町宮正導寺団地17・18号解体工事	建物解体工	後野	4者	榊井田建設	1,580	1,343	1,400	88.6	H19/6/6 ~7/13
5/30	19与上第1号	第4次拡張改良事業配水管布設替工事	本管布設替工 給水管布設工	岩滝	7者	安田建設㈱	21,940	18,219	18,219	83.0	H19/6/8 ~12/14
5/30	19与商観工第1号	染色センターエアコン設置工事	エアコン設置工	算所	5者	矢野電器㈱	1,870	1,517	1,700	90.9	H19/6/5 ~6/29
5/30	19与住環委第1号	与謝野資源ごみストックヤード新築工事設計業務委託	倉庫等新築工事 実施設計業務委託	明石	4者	一級建築士事務所 浪江建築事務所	1,410	-	950	67.3	H19/6/5 ~7/31

※詳細については町ホームページをご覧ください。総務課(本庁舎・☎46-3003)で閲覧することができます。

この欄で紹介する出生とお悔やみは5月16日から6月15日までの届け出分です。また、役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています。

町内に配付している
広報誌には掲載しています



町内に配付している
広報誌には掲載しています



・まちのうごき・
平成19年5月末現在
人口 25,511人(-18)
男 12,063人(-9)
女 13,448人(-9)
世帯数 8,997戸(±0)